

開催概要

うらわ美術館
開館20周年記念

芸術家たちの住むところ

Urawa Art Museum 20th Anniversary:
Home of our Artists

会 期 2020年4月25日[土]～8月30日[日]

前期：2020年4月25日[土]～6月21日[日] 後期：2020年6月30日[火]～8月30日[日]

休 館 日 月曜日（ただし5月4日、8月10日は開館）、5月7日、6月22日～29日、8月11日

開館時間 午前10時から午後5時（金・土は午後8時）まで *ギャラリーへの入場は閉館の30分前まで

観 覧 料 一般830円（660円）、大高生520円（410円）、中学生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金です *障害者手帳をお持ちの方および付添いの方1名は半額です

*観覧済の有料観覧券のご提示により、「リピーター割引」として団体料金でご観覧いただけます（観覧日から1年以内、1名様、1回限り有効）

前・後期共通割引チケット：一般1200円、大高生700円

観覧無料期間 4月25日[土]～5月6日[水・祝]：開館20周年記念

7月23日[木・祝]～7月31日[金]：オリンピック・パラリンピック連携記念

関連事業 記念イベント、当館学芸員によるギャラリートーク、ボランティアによる鑑賞ガイド等

主 催 うらわ美術館

企画協力 日動美術財団

広報用画像

広報用画像として作品図版A～Iをご用意しています。下記の確認事項をご確認の上、メールまたはFAXにてご連絡ください。

- ※確認事項 ① 作品図版は本展覧会紹介に限りご使用いただけます。② 作品図版を使用する際は必ずキャプション（作家名、作品名、制作年、所蔵）を表記してください。
③ 取材や会場撮影の際は必ず事前にご連絡ください。④ 確認のため校正原稿をお送りください。
⑤ 掲載日、放送日、掲出日が決まりましたら事前にお知らせください。⑥ 掲載後には恐れ入りますが、掲載誌（紙）、データ等をご惠贈ください。

希望作品図版

媒体名

媒体種別（雑誌、web等）

貴社名

ご担当者名

ご連絡先

Tel：

Fax：

e-mail：

掲載、放送、掲出日

*読者プレゼント用招待券が必要な方

必要枚数：

枚

送付先住所

〒

〈お問い合わせ〉

 うらわ美術館
URAWA ART MUSEUM

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-5-1 浦和センチュリーシティ3F
tel: 048-827-3215 fax: 048-834-4327 e-mail: urawa-art-museum@city.saitama.lg.jp

<https://www.city.saitama.jp/urawa-art-museum/>

※うらわ美術館ウェブサイトにてプレスリリースのデータやお問い合わせフォーム等を掲載しています。併せてご利用ください。

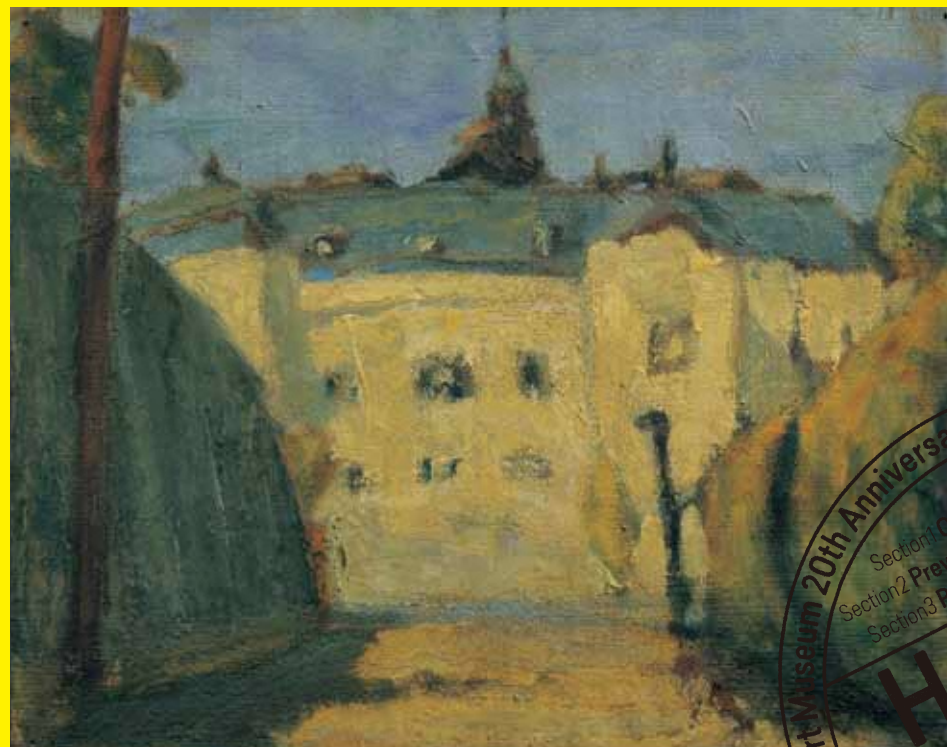
うらわ美術館開館20周年記念

芸術家

プレスリリース
令和2年1月

次回展覧会のご案内

小松崎邦雄《浦和風景》1947年 うらわ美術館蔵



高田誠《桐の咲ける風景》1933年 うらわ美術館蔵

前期 Section1|2

2020 4/25 [土]

— 6/21 [日]

後期 Section1|3

2020 6/30 [火]

— 8/30 [日]



うらわ美術館
URAWA ART MUSEUM

たちの

住む

Press Release

ところ

企画概要

2000年4月29日、うらわ美術館は、多くの芸術家が集まり文化を育んできた浦和の街に誕生しました。その開館20周年を記念し、各地の美術館や関係機関の所蔵作品と当館収蔵品を交え、美術を通してゆかりの土地を改めて見つめ直す展覧会を開催します。

いつの頃からか「鎌倉文士に浦和絵描き」という言葉が聞かれるようになりました。1923年の関東大震災後、東京から芸術家がさいたま市の浦和地域に移り住んだことが一つの背景として挙げられますが、他にもこの土地が絵描きの街となった要因は様々にありました。なぜ、彼らはこの土地を選び、居住地としたのでしょうか。そしてここで何を感じ、どのような作品を生み出したのでしょうか。

本展では芸術家同士の繋がりや様々なエピソード、時代状況等をたどりながら、この土地に集った芸術家たちの作品やその背景をひも解きます。文化の礎を築いた芸術家たちの足跡、そして彼らが活躍の場を広げていった様子を、100点を越える作品、資料とともに前期と後期の二期に分けて展覧します。

〈展覧会構成〉

前期：2020年4月25日〔土〕～6月21日〔日〕：セクション1,2

後期：2020年6月30日〔火〕～8月30日〔日〕：セクション1,3

セクション1 | 描かれた土地の記憶

セクション2 | 戦前：芸術家たちの諸相

セクション3 | 戦後：それぞれの道

*セクション2は前期のみ、セクション3は後期のみ展示となります。
セクション1も一部展示替えがございます。ご注意ください。

〈出品作家〉

跡見泰、瑛九、奥瀬英三、小沢剛、加藤勝重、金子徳衛、鹿子木孟郎、倉田白羊、小林真二、小松崎邦雄、斎藤三郎、櫻井英嘉、里見明正、重村三雄、杉全直、須田剋太、相馬其一、高田誠、武内鶴之助、田中保、津久井利彰、寺内萬治郎、富本憲吉、内藤四郎、永田二郎、野島康三、林俊衛、林武史、福田尚代、福原霞外、増田三男、安井曾太郎、四方田草炎、渡邊武夫 他（50音順、敬称略）

〈出品作品〉

34作家、約140点の油彩画、日本画、彫刻、ドローイング、資料等

見どころ

1. 美術をとおして見た街は、新しい魅力がいっぱい!

芸術家たちがそれぞれの作品に写しとった浦和の街並みには、芸術家ならではのユニークな視点、温かい愛情を感じることができます。今まで気づかなかった街の魅力を発見したり、今は失われた風景に想いを馳せるなど、それぞれの楽しみ方ができるはずです。

2. ゆかり作家の名品が全国から集結!

近隣の文化施設や個人から、遠くは九州・中国地方の美術館まで、地域ゆかり作家の名品が一堂に会します。作品がゆかりの地に集まる貴重な機会です。ぜひお見逃しなく!

3. イベントも盛りだくさん!

記念講演会やギャラリートークを多数予定しています。夏には子ども向けの企画も!

4. 教育普及用キャラクター「うらびい」誕生!

さいたま市内の小中学生から原案を募り、教育普及用キャラクター「うらびい」が誕生します。また、うらわ美術館の20回目の誕生日となる2020年4月29日に表彰式を行います。

Section 1 描かれた土地の記憶



A. 高田誠《桐の咲ける風景》1933年
うらわ美術館蔵



B. 武内鶴之助《日暮》制作年不明
うらわ美術館蔵
*前期のみの展示



C. 林俊衛《自画像》制作年不明
笠間日動美術館蔵

Section 2 戦前：芸術家たちの諸相



D. 野島康三《題名不詳・F》1931年
京都国立近代美術館蔵
*前期のみの展示



E. 瑛九《眼》1936年
宮崎県立美術館蔵
*前期のみの展示



F. 杉全直《轍》1938年
東京国立近代美術館蔵
*前期のみの展示

Section 3 戦後：それぞれの道



G. 内藤四郎《十字星 銅花器》1982年
資生堂アートハウス蔵
*後期のみ展示



H. 寺内萬治郎《髪》1961年
蘭島閣美術館別館蔵
*後期のみ展示



I. 福田尚代《山のあなた》2010-13年
うらわ美術館蔵
*後期のみ展示